

町内にはさまざまなコミュニティがあり、独自の活動をしています。そんな皆さんの活動やイベントをご紹介しますコーナーがグループライフ(仲間との生活)です。

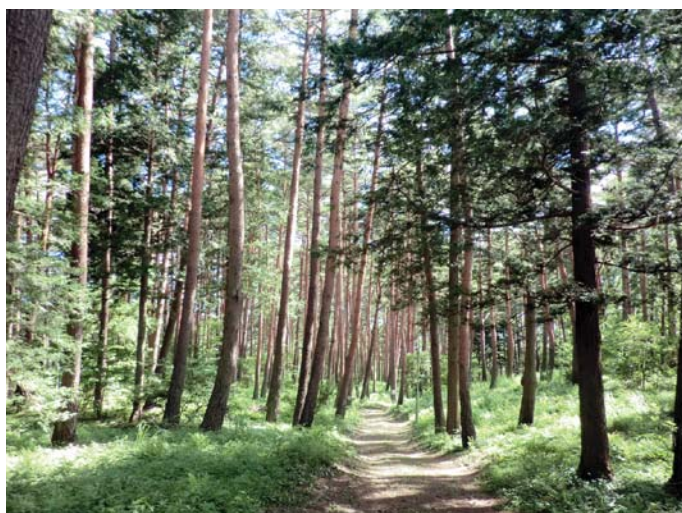
GroupLife ウォーキングで身体も心もリフレッシュ

富士見町地域スポーツクラブ

問 町民センター ☎62-2400



新緑の「町民広場ウォーキング・コース」



ぜひ、一度歩いてみてください。小川のせせらぎ、旧鉄道跡トンネルなど、癒しのスポット間違いなしです。春は桜・エンレイソウ・スマレ・ニリンソウ、夏は新緑・トリカブト・ワレモコウ、秋は紅葉・オミナエシ・ツル lindou・キキョウと、たくさんの花や木に出会えます。

井戸尻考古館の古代ハスを訪ねる



7月14日(土)早朝ウォーキングが開催され、「井戸尻考古館の古代ハス」を訪ねました。広さ 600 m²の田に生える「大賀ハス」たちが、気持ちよく迎えてくれ、樋口館長からの案内の後、「ぞう び はい像鼻杯」の体験もできました。

GroupLife 「継続は力なり」～自分自身・仲間を信じる力～

富士見高校

富士見高校野球部はそれほど強いチームではありません。練習試合も勝てず、公式戦も勝ったことがありませんでした。1年2年のとき、先輩の背中が大きく頼もしげに見えましたが、結局試合に勝てませんでした。3年生となり頼りなげなチームだなと思っていましたが、日増しに力強さを身につけ、みごと一回戦に勝利しました。ほんとうに大きな財産を手に入れることができました。(ピッチャー 斉藤史哉)



春から1年生と倉坪新監督が加わって、やっと野の試合ができるようになりました。感激でした。新チームになってからいろいろなことがありましたが、皆で力を合わせて練習や試合ができることがうれしかった。一回戦を突破したのは4年ぶりでした。校歌を歌っているときほんとうに野球を続けてきたこと、周りの支えがありがたかったことを、かみしめました。(主将 中村泰幸)





9月17日(月)に富士見中学校校庭および第2体育館で行われる「キッズスポーツフェスティバル」の記者会見が行われました。

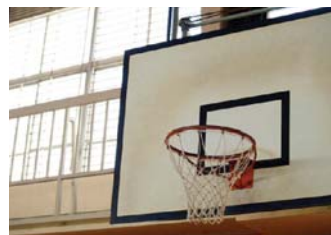
記者会見当日は、松本山雅FCのアンバサダーで元Jリーガーの柿本倫明様、信州ブレイブウォリアーズの普及・強化部部長の藤川聡様、原村商工会青年部部長様を迎え、地元メディアがカメラを構える中、いつもとはちょっと違う雰囲気ではじめました。緊張の面持ちの中でも、この会を迎える二つの団体様の心意気や、主催する我々の「子どもたちに夢を持ってもらおう」という気持ちが伝わったと思います。

当日、大人の方々は参加できませんが、普段、間近では見られないプロ選手のスーパープレイを見られるエキシビジョンや、グッズ販売なども行われます。

ぜひとも多くの皆さまにご来場いただき、子どもたちの真剣な姿を見に来ていただければ幸いです。

そしてこれからも、富士見町商工会青年部は「子どもたちに夢を持ってもらえるようなイベント」を、数多く行っていきます。

町民の皆さま、これからもご期待ください。



◆開催日時 9月17日(月) 午後2時～
◆場 所 富士見中学校校庭および第2体育館

「健康ふじみ21」栄養食生活推進委員JA信州諏訪では、皆さまが安全に、かつ心豊かに生活できる地域社会を創造するという使命を認識し、様々な地域活動に取り組んでいます。その取り組みの一つに「食農教育」があります。

次世代を担う子供たちが、食料を生産する「農」の役割や重要性を理解・体験することで「食」と「農」のつながりを学びます。

地域生産地域消費による親子料理教室と、富士見小学校の田植え、稲刈り、脱穀による食農教育を紹介します。



親子で料理を作り、味わうことで地域の食文化と農業の大切さを学び、地元食材を生かした6品を作り、昼食を楽しみました。



田植えを初めて経験する児童も多く、ぬかるんだ泥に足をとられたり、つらい体制になったりと、「農業の大変さ」を実感していました。児童にとっては「秋の収穫が楽しみ」と良い経験となりました。



手で刈った稲をプールのフェンスに干し、乾燥後に足踏み脱穀機で脱穀を行いました。